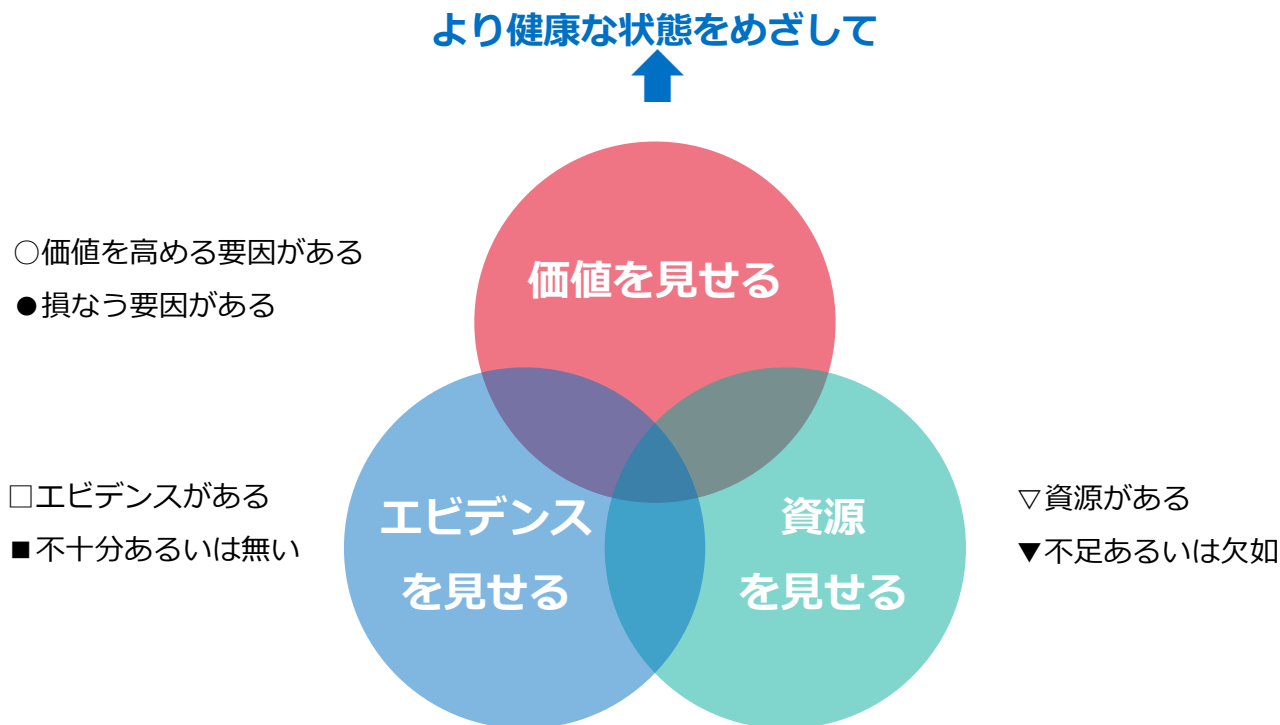
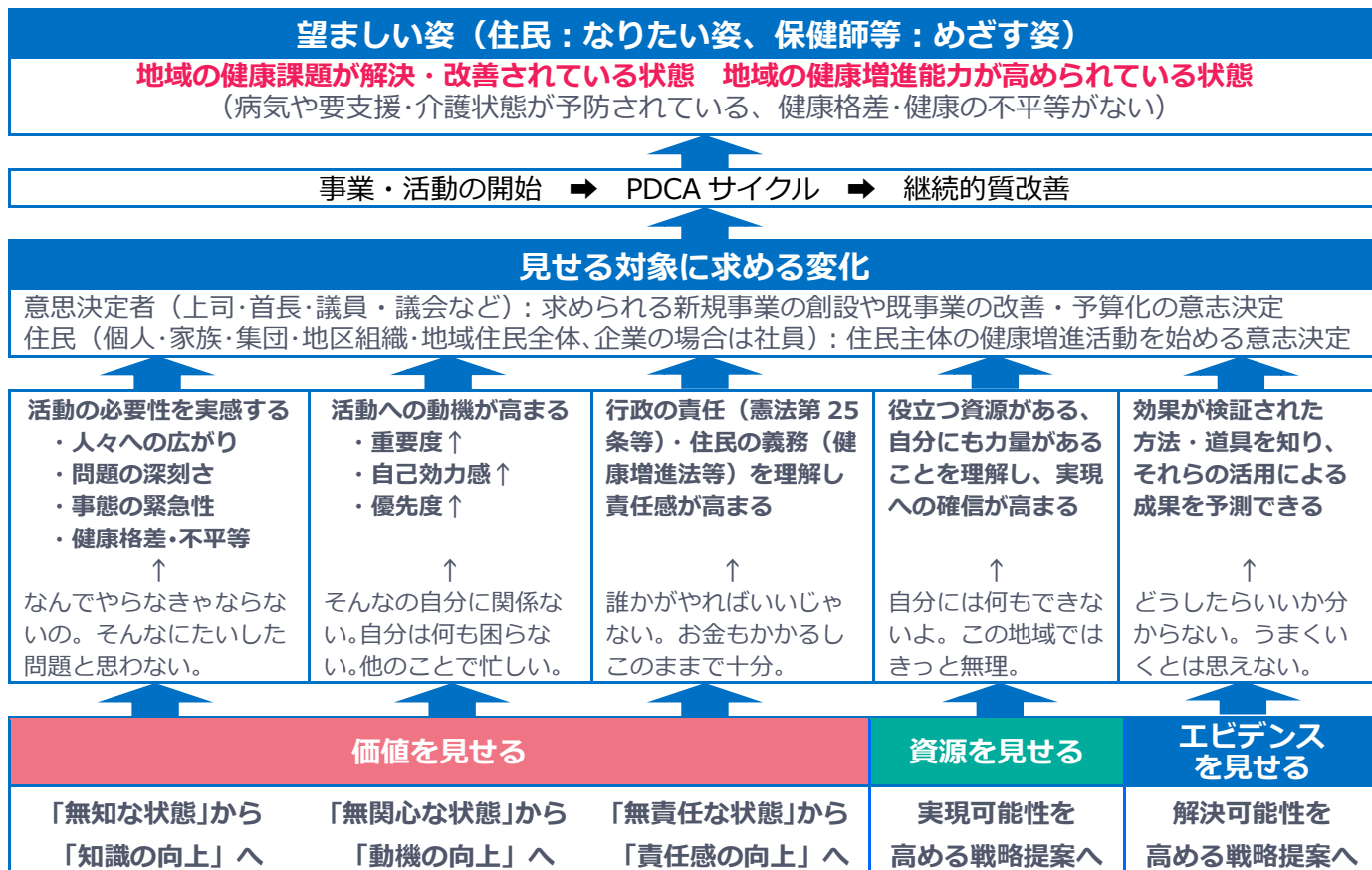


活動の必要性を見せる技術 概論

活動の必要性を見せる技術 【構成】



活動の必要性を見せる技術 【展開方法】



活動の必要性を見せる技術 演習ワークシート

◆演習スライドでヒマワリ保健師が見せたものは何でしたか？

・人々への広がり、問題の深刻さ、事態の緊急性として、それぞれ何を見せましたか？

➡【価値を見せる】の空欄に記入してみましょう。該当する内容にチェックしてから、保健師が見せた具体的な資料名を書き込みましょう。

また、ヒマワリ保健師の思いを聴いて、あなたが感じたこともメモしておきましょう。

◆そして明らかになったZ市の健康課題は何でしょうか？

またその健康課題をもたらしたリスクファクターとして、ここまでに分かったことは何でしょうか？

↓

{ }
{ }

活動の必要性を見せる技術【価値を見せる】

【価値を見せる】内容		具体例	チェック	今回の事例で保健師が見せた具体的な資料
健康事象（健康課題・健康増進能力）の明確化	1.人々への広がりの実態を見せる	縦断的な分析： ・多数の健康課題か、多数の関心か ・事態は緊急か ・健康格差・不平等はあるか	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各種統計の年次推移(国・県・市町村・地区) <input type="checkbox"/> ➢ ➡人数や格差の広がりやの程度・速さの判断 <input type="checkbox"/> ➢ 典型事例（個人、地域）、住民の声など <input type="checkbox"/> 	
	2.問題の深刻さの実態を見せる	横断的分析： ・命や生活の維持に深刻か ・事態は緊急か ・健康格差・不平等があるか	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各種統計の定点比較(国・県・市町村・地区) <input type="checkbox"/> ➢ ➡重篤性・緊急性・格差の程度の判断 <input type="checkbox"/> ➢ 典型事例（個人、地域）、当事者の声など <input type="checkbox"/> 	
	3.新興だが増加・深刻化が予測できる状況を見せる	・新しい健康課題、新しい関心	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各種統計からの予測 <input type="checkbox"/> ➢ 住民からのナラティブ情報の資料化 <input type="checkbox"/> ➢ 事件（氷山の一角）からの推測 <input type="checkbox"/> 	
上記の背景要因	4.健康課題と関連要因を見せる	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 原因は何か <input type="checkbox"/> ➢ リスクファクター（悪化要因）は何か <input type="checkbox"/> ➢ 持てる力（対処力ほか各種強み、信念・価値観、文化・慣習、生き様） <input type="checkbox"/> 		
	5.それは対象（個人・集団・組織・地域）にとってどのような意味（利益、不利益）を持つことなのかを見せる	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 健康増進、健康長寿 <input type="checkbox"/> ➢ 健康の悪化、病気、要支援・要介護状態 <input type="checkbox"/> ➢ 人材の損失 <input type="checkbox"/> 		
	6.放置した場合のリスクや損失を見せる（解決・改善した場合の利益を見せる）	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 放置した場合の責任の所在 <input type="checkbox"/> ➢ 各種統計（健康課題の悪化/好転予測、経済損失/収益予測） <input type="checkbox"/> ➢ 既にそのアウトカムが出ている他地区の事例 <input type="checkbox"/> 		

活動の必要性を見せる技術【資源を見せる】

【資源を見せる】内容	具体例	チェック	今回の事例で保健師が見せた具体的な資料
1. 活動の推進に役立つ資源の存在を見せる ・そのまま役立つ資源 ・リニューアルして役立つ資源 ・外的資源・内的資源	➢ 新規事業の創設に役立つ資源リストと実態	<input type="checkbox"/>	
	➢ 健康課題の解決・改善に関係する資源リストと実態	<input type="checkbox"/>	
	➢ 地域の強み	<input type="checkbox"/>	
2. 対象自身が資源であることを見せる	➢ 資源の不足・内容の不十分さ→充実の方向性と可能性	<input type="checkbox"/>	
	➢ 持てる能力(特技、専門性、ネットワーク、など)	<input type="checkbox"/>	
3. 誰が取り組むべき事業・活動であるかを見せる	➢ 行政（企業）あるいは住民単独で行えること、協働が必要なこと	<input type="checkbox"/>	
	➢ 現法の限界・新たな法制化の必要性	<input type="checkbox"/>	
	➢ 国（政策・対策）や都道府県（施策）の動きとの関連	<input type="checkbox"/>	

活動の必要性を見せる技術【エビデンスを見せる】

【エビデンスを見せる】内容	具体例	チェック	今回の事例で保健師が見せた具体的な資料
1. 望ましい姿とのギャップを見せる	➢ 目標値と現状値の比較	<input type="checkbox"/>	
	➢ 検証されたエビデンスと現状のギャップ	<input type="checkbox"/>	
2. 解決・改善を可能にするエビデンスを見せる	➢ 「価値を高める」「資源を増やす」方向への解決を可能にするエビデンス	<input type="checkbox"/>	
	➢ 成果に貢献する効果が検証された方法、道具、機材	<input type="checkbox"/>	
3. 成果の予測を見せる	➢ その方法に基づき実施した場合に予測される成果	<input type="checkbox"/>	
	➢ 健康課題の充足・人々への貢献予測	<input type="checkbox"/>	
	➢ 自治体や地域の評判の上昇 など	<input type="checkbox"/>	

◆演習スライドでヒマワリ保健師が見せた健康課題の背景要因は何でしたか？

・どんなデータを用いて何を明らかにしていましたか？（前頁と上の表に追記してみましよう。）

◆背景要因が明確でない時、ヒマワリ保健師は、どんな手法を用いて明確化を試みていましたか？（横の空欄に書いてみましょう。）	
◆ここまでで、明らかになったいくつかの背景要因から、あなたはどのような健康課題解決の方向性を見出しましたか？（横の空欄に書いてみましょう。）	

見せる公衆衛生看護技術

♣ヒマワリ保健師がさらに見せたものは何でしたか？

・どんな情報やデータを用いて何を明らかにしていましたか？（前々頁と前頁の表に追記してみましょう。）

♣あなたなら、このZ市の健康課題の解決・改善に向けて立てられたこの計画を、
どのような方法で上司にアピールしますか？

まとめ

「活動の必要性を見せる技術」の実際を、実感を持って理解できましたか？
（どんな学びがあったか、書き留めておきましょう。）

今まで、あなたは、この技術を使ったことがありましたか？
（どんな場面で使っていたか、書き留めておきましょう。）

今後、この技術をどのように活用していきますか？
（担当する計画の立案・改善に向けて、あなたの活動展開をどのようにアップグレードなさいますか？
この機会に、ぜひ具体的に考えてみてください。）